

計画の名称	大田市における下水道事業の推進（防災・安全）														
計画の期間	令和0 2 年度 ～ 令和0 6 年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	大田市														
計画の目標	浸水対策の推進により 安全・安心な地域の形成を目指す。														
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		484	A	484	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C ／（ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）		（R6末）
1	下水道による都市浸水対策の達成率を12%（R2）から14%（R6）に増加 浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 都市浸水達成率＝（概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）） /（浸水対策を実施すべき区域の面積（ha））	12%	%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大田市	直接	大田市	管渠（ 雨水）	新設	管渠整備事業（大田排水 区）	雨水管□1600×1600 L=400 m	大田市	■	■	■	■	■	484		－
											小計						484		
											合計						484		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大田市にて評価を行い確定。

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

大田市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道による都市浸水対策の達成率を12%（R2）から13%（R6）に増加した。
都市浸水対策達成率（雨水渠整備による整備面積の実績値）が目標に到達しなかったが、浸水被害の大きい区域から優先的に整備を進めることにより、浸水被害の軽減を推進し、安心な生活環境の創出が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

本計画期間で整備途中となった大田排水区について、次期整備計画を策定し、計画的に整備を行い下水道による都市浸水対策の増加を図っていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	14%		
	最 終 目標値	14%	資材高騰等により、事業費の増大が続いたため。
	最 終 実績値	13%	